

一般社団法人日本家政学会色彩・意匠学部会
2025年度夏季公開講演会

横浜が織りなす 色彩と意匠

2025.8.29 FRI

12:30~17:00

横浜は幕末の開港以来、輸出入の窓口として発展してきました。中でも生糸の輸出がめざましい成長を遂げるにつれ、全国の産地から横浜に生糸が集まるようになり、絹織物やスカーフの生産が盛んになりました。
日本の近代化に大きく貢献したシルク染織品に関連して、色彩と意匠の側面から学びます。

会場

<講演会>シルクセンター国際貿易観光会館地下1階大会議室参加費 無料
<見学会>シルク博物館(解説付き)入館料300円

講演プログラム

横浜スカーフについて
シルク博物館 学芸員 石渡桃子氏

水彩効果を生活の中のデザインへ活用する試み
東京家政学院大学 教授 井澤尚子氏

複製スカーフ(シルク博物館オリジナル商品)シルク博物館所蔵

お申し込み

Googleフォームより申込
<https://forms.gle/78rjq5osigobxsCp6>
〆切:8月22日(金) 定員50名



お問い合わせ

畑 久美子(愛国学園短期大学)
hata@aikoku-jc.ac.jp